



6月5日 環境の日

6月は環境月間です

6月5日は「環境の日」。環境の日を含む6月の1カ月間は環境月間と定められており、この期間中、環境保全の重要性を認識し行動の契機とするため、各地で啓発活動などが行われます。環境問題は、地球全体の問題ですが、私たち一人一人が身近なところから取り組むことが重要です。

環境月間にちなみ、市でも6月10日(月)～20日(木)に「えびな環境フェスティバル」の開催を予定しています(8ページ参照)。

今号では、同フェスティバルに例年出展し、市内を拠点として環境保全活動に取り組んでいる6団体を紹介します。

環境特集



海老名里山づくりボランティア山仕事の会

真夏を除き、月3回ほど市内の里山で間伐や枝打ち、下草刈りなどの活動を行っている「山仕事の会」。市の環境市民大学の卒業生を中心に、平成18年2月に発足しました。

間伐材や里山で拾い集めたロングリヤ松ぼっくりなどを使い、各種イベント会場や里山クラフト(手作り工作)なども行っています。

作業前には体をほぐすラジオ体操、昼食時には会長から樹木の生態に関するレクチャーなども。会員の皆さんは、山仕事の経験のなかった方も多いとのこと。退職後の第二の人生に、地域で仲間と一緒に汗を流しながら、新たな絆が生まれています。

【連絡先】

会長・伊藤健二

☎(2332) 73115

✉ken.j@ykrim.or.jp



大変な作業も

山がきれいになることで励みに



「黒い川」は昔の話 今では鮎も遡上する一級河川

市内東部を流れる一級河川、目久尻川。「目久尻川をきれいにする会」は流域の住民により、約20年前に結成されました。高度経済成長期に、住宅開発や工場建設による排水などで水質悪化が進み、「黒い川」と呼ばれていた目久尻川でしたが、徐々に水質も改善、今では鮎の遡上も確認できるようになりました。

この水質改善の背景には、同会が展開してきた環境整備活動がありました。10年ほど前から、かつてホテルが多く自生していた現在の杉本小と上屋小の周辺で、ホテルを復活させるための事業をスタート。現在も引き続き生育環境の整備と、ホテルの幼虫と餌になるカワニナの放流を毎年3月に行っています。

【連絡先】

広報担当・三宅紘輔

☎(2333) 4984

✉kou-myki13405@u01.gate01.com



「元気に育って！」子どもたちは願いを込めて、ホテルの幼虫とカワニナの放流を行っています。

環境美化活動ボランティア

目久尻川をきれいにする会

